

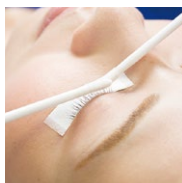
装着方法に誤りはないか？



装着前には前処理が必要

油分・汚れはグルーとの相性が悪く人工毛が外れやすくなる原因となるため、装着前にはまつげに付着している油分を前処理剤でしっかり落とします。(まつげにファンデーションなどが付着している場合は、予めクレンジングでしっかり落とします。)

※前処理の後にはしっかりと乾かします。



◆前処理剤でまつげに付着した油分をしっかりと落とす。

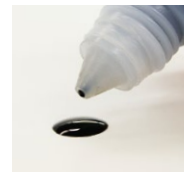
適量のグルーをつけること

グルーをつける量が少なければ外れやすくなってしまいます。同時に、つけ過ぎてしまったグルーを払い過ぎていないか注意しましょう。

※グルーをつけ過ぎると人工毛装着後グルーがダマになり不自然な仕上がりになってしまうため、これを避けようとした時に「払い過ぎ」が起こってしまいます。



◆「ダマにならないように」注意すること。



◆5～10分以内に1回新しく容器から出し、常に新鮮なグルーを使用すること。

装着するまでに時間がかかり過ぎてはいけない

まつげに人工毛を装着するまでにグルーが硬化してしまい、しっかりと接着されません。

※グルーによって硬化時間が異なることを理解した上で、実際に使用するグルーの接着までの時間と適切な塗布量を判断する必要があります。

適切なグルー塗布量目安 クリーンラッシュ(先細抗菌シルクセーブル)に各グルーをつけた画像



◆OP操作性重視タイプ■マザーグルー



◆HSヘアサロン仕様■マザーグルー



◆低粘度最速施術タイプ■ギプスグルー



◆LS超低刺激仕様■マザーグルー

Close-Up! 施術経験の長いベテランの施術者も見落としがちな重要ポイント!

グルーは粘度が下がるほど(サラサラになるほど)、人工毛の上ではじいて水滴のような水玉状になります。水玉状になったグルーが人工毛の根元に集結したまま地まつげに接着すると接着面積が少なくなります。そのような状態での接着は持続力が低下する大きな原因となりますので、地まつげに接着する際に前後に1～2回スライドさせて接着面積を広げなければなりません。

まつげに装着してから必要以上に手直ししてはいけない

持続力が極端に低下する悪い装着例

人工毛を装着時、角度や位置の調整で何度も触っている間にグルーが乾燥してしまい、正しく装着されません。



しっかりと地まつげにフィットさせること

人工毛の根元がまつげから浮いていると、その部分からホコリなどの異物が入り込み、外れやすくなってしまいます。また、洗顔時タオルで顔を拭く際、生地繊維が引っかかる恐れがあります。



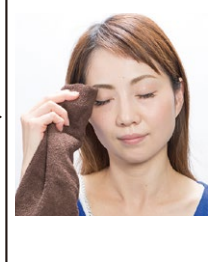
◆接着面積十分で、綺麗な状態で装着されている

◆根元が浮いた状態で装着されている

◆カーブが強すぎ、接着面積が極端に少ない



◆根元が浮いている状態だと、持続力は極端に落ちる



◆顧客にアフターケア(ホームケア)に関する説明を十分にしても、確実に装着できていなければ、持続力は大幅に低下してしまいます。タオルで優しく拭いているつもりでも、装着状態が悪ければ生地繊維が引っかかってしまいます。正確で確実な装着技術と、丁寧なアフターケア(ホームケア)の両方が重要です。

同じグルーを使用しているのに、まつげエクステの持続力が大きく異なる 「持ちが良い」というサロン・「持ちが悪い」というサロンの違いを詳しく考察する 2 / 2

使用する人工毛とグルーの組合せ選択は適切か？

人工毛とグルーは同一メーカーの製品を合わせて使用することが好ましい

松風のグルーを例にすると、松風グルーの持続性は、松風人工毛を使用し検証した結果の平均期間であるため、他社製品との混合使用での持続性を検証できていないことがその理由です。

※人工毛とグルーには相性があります。グルーの持続力問題に関する原因の中でも重要な要素のひとつに挙げられます。特に硬くクオリティーの低い人工毛を使用すると持続力は極端に低下します。



◆相性が良く持続力を最大限維持するためには同一メーカーの製品を使用すべき。画像は、いずれも松風が販売している商材（左側「先細抗菌シルクセープル」/右側「ギプスグルー■日本製」）

使用グルーの特性を理解すること

グルーにはそれぞれ特性がある為、使用する施術環境や使用するグルーの特性を理解する必要があります。



◆松風グルー最適診断
URL/https://www.eyecosome.jp/pdf/s/mother_iagnose.pdf



◆History of Our Eyelash Extensions Glue
URL/https://www.eyecosome.jp/pdf/s/glue-his.pdf



松風は、特別な形状や機能性を付与した人工毛を数多くご提供しています。人工毛に関する情報は、松風公式サイトをご確認ください。



アフターケアの説明はできているか？

人工毛装着後の注意事項を正しく理解すること

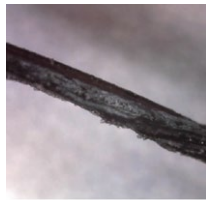
持続性を維持する為に、装着後（約2時間以内）は洗顔、入浴、高温多湿の場所は避けていただきます。また、まつげを触ったり負担を与えないよう注意が必要です。装着後のまつげに水分（水蒸気も含む）が付着、または吸収することによって外れやすくなったり、「白化現象」（白く小さな点ができ固まること）の原因となったりすることがあります。



◆気になって無意識のうちにまつげ&人工毛を触ってしまうことも・・・



◆白化現象によって、まつげ全体が不自然な状態になった画像



◆人工毛装着後、白化した状態を拡大した画像

顧客のライフスタイルにより持続性が異なってくる

<就寝時の体勢>

うつ伏せや、まつげが枕に圧迫された状態が長時間続くと、人工毛に負荷がかかり外れやすくなる為、可能な限り仰向けでの就寝をお勧めします。



◆擦らずまぶたの上から優しく押さえ水分を拭き取る



◆うつ伏せで寝ると接着部分に負荷がかかってしまう

<洗顔時の注意>

メイクオフの際は、出来るだけ人工毛に触れない様にやさしくクレンジングします。洗顔後、顔を拭く際は擦らずまぶたの上から優しく押さえ水分を拭き取るようにしましょう。

使用・管理方法に誤りはないか？

グルー容器をしっかりとよく振ってから使用すること

振りが足りない場合、グルー液体の成分が完全に混ざり合っていない状態となるため、接着効果が最大限に引き出されない結果となります。
※振りは60回程度を目安とします。



◆グルーはしっかりと振ってから使用すること

グルーの使用期限について正しく理解すること

通常は未開封の状態では2か月程度、開封後は30日程度です。

※保管状況により使用期限は異なります。経費削減は重要ですが、常に品質の良い状態で使用することを心がける必要があります。
※グルーにより使用期限は異なります。詳細は取扱説明書でご確認ください。



◆購入日・開封日・担当者名を記入して、品質管理の徹底を！非常に重要



◆施術時&施術後も気付かない内に直射日光にさらされることのないよう、十分注意すること

正しい保管方法で保管すること

グルーは通常乾燥剤入りのアルミ袋に入った状態で販売されています。湿気による劣化を防ぐため、グルーの保管時にはノズルやキャップに付着したグルー・汚れを拭き取り、キャップはしっかりと確実に閉め、アルミ袋にグルー容器と乾燥剤と一緒に入れチャックを閉じ、未開封・開封後に関わらず、冷蔵（推奨範囲5～10℃）で保管します。

使用の度に確実にキャップを開めること

Check1

グルーを容器から出した後、ノズルからグルーがあふれ出ているにも関わらずすぐにキャップを閉めないこと！
グルーがあふれ出てこなくなるまで中の空気を押し出してください。



◆毎回！キャップを開める前にノズルのグルー&汚れをしっかりと拭き取る



◆キャップを確実に閉めている状態。施術時も保管時も常にこの状態を保つこと

Check2

ノズルからグルーがあふれなくなることを確認したら、ノズル部分に付着したグルーを確実に拭き取ってください。
同時に、キャップの内側にグルーが付着していないかを確認し、もし付着していれば確実に拭き取ってください。



◆施術時以外は必ず付属のアルミ袋（乾燥材入り）の中に入れて劣化を防ぐこと

Check3

ノズルとキャップの内側に付着したグルーをキレイに拭き取ったら、キャップをしっかりと閉めてください。
上記の作業を怠り使用を続けると、グルーの劣化を促進させるだけでなく、接着強度「持続力」に影響が出てしまいます。



◆キャップが確実に閉まっていないため容器内で急速に劣化が進んでしまう



◆キャップを閉めずに放置している。使用毎に必ず確実にキャップを開めること